



大事にしようよ、
大きな図書館が無くなるようなもの
学園長 小島 澄人

幼い時の友人から、突然と時折電話がかかってくる。広島県呉市に生活しているとのこと、幼い頃のことから、よく遊んだり時には喧嘩したり良きライバルでもあった。1時間2時間と、普段長話はしない私にとっては長く話してしまう。先日、お互い介護する年になったなあ、いやもう介護される立場になったなあ、すると急に友人は「なあ澄人、年寄りは大事にしような、会社の先輩に言われたことが今でも心に染みた言葉があるんだけど、当時おれは生意気だったのかな、『お年寄りが1人亡くなると大きな図書館が1つ無くなるぐらい大変なことだよ』と言われたんだ。」その言葉は私にもずしんと来ました。義母と同居しているのでその大変さは解りますが、まさか今元気な自分が逆な立場になるとは想像したこともない、なお身に染みしました。

確かに両親も、おじもおばも皆さんもう天国です。10数人、もう誰もいない。本当に可愛がって貰ったし、幼稚園時代はおじの世話になったぐらいです。幼稚園をと思って幼稚園のある父の兄の大家族の中で過ごしました。大きな体験、たくさんのことを学びました。大学を出て就職、結婚、お世話になったたくさんの方々も天国。最近幼稚園の近隣の方が次々と亡くなる、幼稚園に勤めて試行錯誤してより良い幼稚園をと思って粹がっていたので、大変お世話にも、また迷惑も掛けっぱなしでした。「また1つ大きな図書館が・・・」。驚きと悲しみ、本当に友人「あらた」の言葉を大切に生きよう、そう決意致しました。「あらた」は、友人の名前です。

人を大切にする、子どもたちを、お年寄りも、そして同僚も、先輩も後輩も、友人も。勿論大事にしたい第一は「家族」。近隣の方々、……。誰もが誰もお互いを大切にする社会を夢見て。

幼稚園、保育園、ほぼどの園も運動会が終わりました。子どもたちの元気な、そしてあったかな雰囲気での運動会でした。子どもたちから感動と幸せをいっぱい頂きました。

秋です。サツマイモが、大根が、柿が、栗が、そしてアケビが素敵な色合いの実りを見せてくれました。子どもたちの収穫が楽しみです。

報告です、柿の実に50メートルぐらいの藤棚が完成しました。私がおもったような光景を見ることが出来るか解らないが、きっとちょっとしたスポットになるに違いない。10年先、20年先、もっと先を見つめた幼児教育を、環境作りにますますせいでほしい。

友人に感謝。またかかってこないかなあ。かけることはないのに、かかってこないかなあ、楽しみに待ちます。